

帆をあげよ！

私たちは海岸を離れ沖に出ます...

8月12日（火曜日）9時。私たちは総会のある大会議室に集まり、5つのグループごとにまとまって着席しました。このグループが、総会を通じて、ベース・グループ、ベース・コミュニティになります。会議は、毎日、その日の福音の祈りから始まります。霊的同伴をしてくださるチャーリー・デイビーSJ神父様が、福音について祈りの導入をしてくださったあと、静かで深い沈黙の祈りの時をもちます。そして、それぞれのグループで分かち合いをします。私たちは、ここに着いた時、「祈りのノート」を受け取りました。このノートには、毎日のミサの朗読箇所とそのみことばに関連するマリ・テレーズの手記や会憲が英語、日本語、フランス語で書いてあります。これらのテキストの箇所を選んでくださったシスターがた、ほんとうにありがとうございました。その一人は Sr.マリ・レジンでした。シスターにとって、おそらく、これが最後の修道会へのプレゼントでした。皆さんがたも、福音を聞きながら、祈りながら、総会参加者と同じ聖霊の息吹の中で、一つの交わりに入られることでしょう。



沈黙の祈りと分かち合いの時は、私たちにとってとても心地よいものなのですが、でも会議に入らなければいけません。司会者に促されて、ヘッドフォンをつけ、総長の2008年総会以来の総統治の働きについてのレポートを聞きます。その中にはすでに終了したことも、現在進行中のももあります。

つづいて、総会計の報告。修道会の財務についてグラフなどを用いながら、はっきりとわかりや

すく紹介してくださいました。



8月13日水曜日。三人の地区長の報告を聞きました。それぞれの国々の使徒的生活について、またこれからの数年間にわたって、どのような課題があるかということを知りました。そのあと、豊かさと限界をかかえた修道会の現実をよりよく理解するために意見交換と質疑応答の時間がありました。



木曜日から、私たちは地区総会から提出された文書を用いながら、カリスマについての作業に取り組みます。一年以上にわたって私たちの共同体で分かち合い準備してきたすべてのことを再発見することでしょう。